

## 大同大学のアドミッション・ポリシー

大同大学工学部および情報学部では、次のような人を広く求めています。

### (知識・技能・思考力)

- (1) 新しいものを創ることに興味をもち、工夫することができる人
- (2) 専攻する分野を学ぶための基礎的な知識や技能を有している人

### (判断力・コミュニケーション力)

- (3) 広い視野と健全な価値観をもち、決断力と行動力のある人
- (4) 豊かな感性と表現力をもつ人
- (5) 人格を尊重しあい、他者と協調できる人

### (関心・意欲・態度)

- (6) 自己の能力向上に意欲をもち、将来の夢や目標を見つけたい人
- (7) 目標に向かって自己を開拓する意欲を持っている人
- (8) 学科・専攻の研究領域に興味をもち、専攻する分野の勉学への熱意をもつ人
- (9) 地域や社会との関わりに興味をもち、発展に貢献したい人

以上

学科（専攻）のアドミッション・ポリシー

機械工学科	機械システム工学科	電気電子工学科	建築学科 建築専攻	建築学科 インテリアデザイン専攻
<p>機械工学は、「ものづくり産業」に直接的に結びついた学問です。日常の生活で利用している産業製品は機械工学という学問と科学技術の結集によってつくられたものです。機械工学科では、これらの製品および製品を生み出す機械をつくるための基礎から応用までの知識と技術を有し、自ら学び、考え、行動できる人材を養成します。加えて、産業界の最先端技術の動向、知的財産権、情報技術、環境問題などについて学び、社会人・技術者としての素養を身につけ、人間・環境に優しい機械やものづくりを創造する能力を身につけることを目標としています。</p> <p>機械工学科では、以下のような人を求めます。</p> <p>(1)機械のしくみ、構造、機能などを考えて、創造的な機械・製品を設計したい人</p> <p>(2)専門分野を学ぶための基礎知識を持っている人</p> <p>(3)広い視野と健全な価値観を持ち、それを表現し他者と強調できる人</p> <p>(4)機械工学を通じて、自らの目標を見つけられる人</p> <p>(5)機械工学科の理念と特色を理解し、強い興味と勉学への熱意を持つ人</p> <p>(6)ものづくりが好きで、積極的にものづくりに挑戦したい人</p> <p>(7)地球環境問題や社会貢献に関心を持っている人</p>	<p>機械システム工学科では、基盤的な機械工学とともに特色あるエネルギー工学、自動車工学、航空宇宙工学、ロボット工学などの応用工学をバランスよく教育します。製図・CAD教育による機械設計技術や基礎的な電気・電子・制御技術の習得、また最先端の産業用ロボットなどを使用した実践的な学習を通して、複数の学問領域にまたがった対象を1つのシステムとしてまとめ上げることでできる「創造性豊かな」エンジニアを養成することを目標とします。</p> <p>機械システム工学科では、以下のような人を求めます。</p> <p>(1)機械と電気・電子技術を総合した創造性豊かな「ものづくり」に意欲的に取り組むことができる人</p> <p>(2)機械工学や周辺技術（電気・電子工学、制御工学、メカトロニクス、プログラミングなど）の専門分野を学ぶための基礎知識や技能を持っている人</p> <p>(3)実社会で活躍しているエネルギーシステム、自動車システム、航空宇宙システム、ロボットシステムなどに興味や関心がある人</p> <p>(4)発見した課題や問題に対し、熱意をもって考えることができる人</p> <p>(5)技術コンテストなど課外活動に積極的に参加する意欲のある人</p>	<p>電気電子工学科は、現代社会を支えるエネルギー、コンピュータ制御、ナノテクノロジーの3つの学問領域にわたる知識や技術を体系的に学び、修得することを目指しています。これら3つの専門分野を個別に学ぶのではなく、システムとして有機的に結びつけ、ハードウェアからソフトウェアまで総合的に学習し、将来の応用に備えて基礎的知識を身に付けた人材を養成します。太陽光発電、都市型風力発電システムから最先端のナノテクノロジーまで、講義と実験を組み合わせた多くの実践的な授業を通して、知識や理論を自分の目や手で実際に感じ取りながら、自然に体得できる教育を目指しています。</p> <p>電気電子工学科では、以下のような人を求めます。</p> <p>(1)電気電子工学科の専門分野を学ぶために必要な数学、物理の基礎学力を有している人</p> <p>(2)電気電子工学科の専門分野に興味をもち、勉学への熱意をもつ人</p> <p>(3)「ものづくり」に興味や関心がある人</p> <p>(4)広い視野と健全な価値観をもち、決断力と行動力のある人</p> <p>(5)新しい価値の創造に興味を持ち、その実現に向け工夫し、努力する人</p>	<p>英語では、建築のことを“architecture”、建築家のことを“architect”と言います。“archi”は、「第一の、先頭に立つ、主要な」などの意味を持ちます。つまり、“architect”とは、元々は、先頭に立って全体を統率する技術者のことを指します。建築学科 建築専攻では、そのように対象とする建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーになろうとする人を養成します。</p> <p>建築専攻では、以下のような人を求めます。</p> <p>(1)建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーとなるための最も基礎的な5分野（計画、歴史、構造、材料、環境）を理解しようとする人</p> <p>(2)目まぐるしく変化する社会や地域の中で見過ごされた建築的課題や人々の心の奥底に隠された無意識の建築的要求を発見し、その課題や要求に対する解を考え、具体化（デザイン化）しようとする人</p> <p>(3)具体化した提案を、言葉、図面、模型、コンピュータを使って、丁寧に、分かりやすく説明できる能力を持とうとする人</p>	<p>英語では、建築のことを“architecture”、建築家のことを“architect”と言います。“archi”は、「第一の、先頭に立つ、主要な」などの意味を持ちます。つまり、“architect”とは、元々は、先頭に立って全体を統率する技術者のことを指します。建築学科 インテリアデザイン専攻では、そのように対象とする建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーになろうとする人を養成します。</p> <p>インテリアデザイン専攻では、以下のような人を求めます。</p> <p>(1)建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーとなるための最も基礎的な5分野（計画、歴史、構造、材料、環境）を理解しようとする人</p> <p>(2)目まぐるしく変化する社会や地域の中で見過ごされた建築的課題や人々の心の奥底に隠された無意識の建築的要求を発見し、その課題や要求に対する解を考え、具体化（デザイン化）しようとする人</p> <p>(3)具体化した提案を、言葉、図面、模型、コンピュータを使って、丁寧に、分かりやすく説明できる能力を持とうとする人</p>

<b>建築学科</b> <b>土木・環境専攻</b>	<b>建築学科</b> <b>かおりデザイン専攻</b>	<b>情報システム学科</b>	<b>情報デザイン学科</b>	<b>総合情報学科</b>
<p>土木・環境専攻では、都市に必要な施設を適切に整備するための調査・計画、設計、施工、ならびに管理の方法や、都市の抱える様々な環境問題を解決する方法等について教育します。わたしたちが安心して快適に生活するためには、道路、鉄道、空港、港湾といった交通・通信施設、川や海の護岸や堤防等の防災施設、また上下水道や電力・ガスなどの施設が必要です。さらに、都市の緑化や生物多様性の保護・復元等も重要となっています。理論や知識の教授だけでなく、まちづくりに関する実験・実習を通して、安全・安心で快適な「まち」を創造することができる技術者を養成します。</p> <p>土木・環境専攻では、以下のような人を求めます。</p> <p>(1)土木・環境専攻の専門分野に興味をもち、勉学への熱意をもつ人  (2)安全・安心で快適な都市環境をデザインしたい人  (3)自然と人工物の調和に関心がある人  (4)「まちづくり」の仕事がしたい人  (5)地図に残る「ものづくり」をしたい人</p>	<p>かおりデザイン専攻では、空間の快適性に密接に関係する「におい・かおり」について学びます。人の心や生活環境における「におい・かおり」の特性と役割、活用法などの基礎知識を身に付け、「におい・かおり」の測定・評価技術を修得し、「におい・かおり」を活用した豊かな生活がデザインできる能力を養成します。</p> <p>かおりデザイン専攻では、以下のような人を求めます。</p> <p>(1)様々なにおい・かおりに興味や関心のある人  (2)生活環境の様々な事象に興味や関心があり、問題点や課題を見出し、解決策を考えることに意欲的な人  (3)調査・実験の手順等を様々な角度から考え、組み立てることができる人  (4)調査・実験等にグループで協力して取り組める人  (5)様々な課題に対して誠実な態度で臨むことのできる人  (6)実験・実習に積極的に取り組むことのできる人  (7)生活の中の不快なにおい問題を解決し、かおりを適切に活用していきたいと考えている人</p>	<p>コンピュータやネットワークの技術は現代社会の基盤（インフラ）となり、私たちの日常生活とすべての産業活動を根幹から支えています。そうした社会の状況を踏まえ、情報システム学科では情報技術の専門教育を通して、情報システムの作り手・使い手としての専門的な知識・技術を有する人材を養成します。</p> <p>情報システム学科では、以下のような人を求めます。</p> <p>(1)将来、コンピュータやネットワークの技術者として社会に貢献したいと考える人  (2)コンピュータやネットワークの技術に興味をもち、勉学への熱意をもつ人  (3)コンピュータを動作させるプログラムに興味をもち、その習得に積極的な人  (4)基礎的な数学の能力をもち、物事を理論的に説明でき、問題を解決できる人</p>	<p>ますます高度情報化する社会において、ビジネスを発展させたり、人の心や生活を豊かにしたりするデザインの役割が高まっており、デザインで活躍できる人が期待されています。</p> <p>情報デザイン学科では、以下のような人を求めます。</p> <p>(1)身の周り、そして広く社会にある色、形、素材などに興味・関心があり、それらの組み合わせや表し方を追究することに意欲のある人  (2)グラフィックス、音楽、映像、造形などに興味・関心があり、先進的かつ実践的な創作やものづくりに意欲のある人  (3)コンピュータのソフトウェアの動作や仕組み、ならびに、コンピュータで動く3Dプリンタの操作など、情報機器の理解・活用に興味・関心がある人  (4)時代の流れや社会の様子に敏感で、他の人たちと協力して、実業界で活躍したり、社会に貢献したりすることに意欲のある人</p>	<p>経営情報学科は、ビジネスの中核を担う企画力と実行力を有する有為な人材を養成するために、情報学、経営学、スポーツ学という三つの学びの分野を提供し、PBL(Project-Based Learning 課題解決型学習)によって実学教育の具現化に努めています。</p> <p>経営情報学科では、以下のような人を求めます。</p> <p>(1)幅広い教養と専門知識を実践に活かし、自ら主体的にデータ分析・問題解決を行い企業社会の中で活躍できる人  (2)専門知識と経験を活かし、全社的な観点から優れたマネジメントを行うことができる人  (3)専門知識やマネジメント能力を、地域活性化などあらゆる社会活動の面で役立てようとする人  (4)活躍の場を広く求めコミュニケーション能力の向上に積極的に取り組む人  (5)指導力・統率力を発揮し、ビジネス・リーダーになれる人  (6)未知の領域に挑戦する勇気のある人  (7)社会へ貢献することを自分の喜びとして行動できる人</p>